

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、平成 24 年 10 月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第 16 条第 2 項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、平成 29 年度のがん対策に関する施策の実施状況をとりまとめました。

1 がん対策に関する施策実施状況の概要

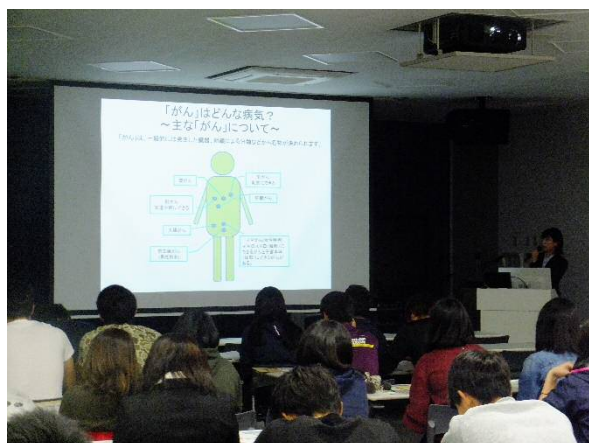
(1) 年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策

① 女性特有のがんに係る対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体等と連携したセミナー等の啓発活動や、女性が検診等を受診しやすくするための医療機関に関する情報を提供しました。

ア 子宮頸がんに関する講演会の開催

連携団体	日時・参加者
<第1回> 桜花学園大学・ 名古屋短期大学	平成 29 年 5 月 10 日（水）、午後 1 時 10 分～午後 2 時 10 分 参加者：142 名
<第2回> 愛知教育大学	平成 29 年 11 月 1 日（水）、午後 1 時 20 分～午後 2 時 50 分 参加者：79 名



イ 医療機関の受診等に関する情報提供

県のホームページに、土日の診療状況、女性医師の配置状況、市町村がん検診の受託状況を取りまとめた医療機関情報を掲載しました（愛知県産婦人科医会に所属する 200 床未満の病院及び診療所で掲載を希望した 206 医療機関について、平成 29 年 6 月 1 日付けで掲載）。

② 働く世代へのがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診の受診率向上やがんにも罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

ア 働く世代のがん対策講演会の開催

＜第 1 回＞（名古屋市、全国健康保健協会愛知支部、NPO 法人ミーネットとの共催）

日 時：平成 29 年 9 月 20 日（水）午後 2 時から

場 所：中区役所ホール

内 容：がん専門医による講演及び医師・がん治療体験者によるパネルディスカッション等

参加者：280 名



＜第 2 回＞（企業（豊田通商株式会社）との共催）

日 時：平成 29 年 10 月 24 日（火）午後 1 時 30 分から

場 所：豊田通商株式会社名古屋本社

内 容：がん専門医やがん治療経験者による講演等

参加者：161 名

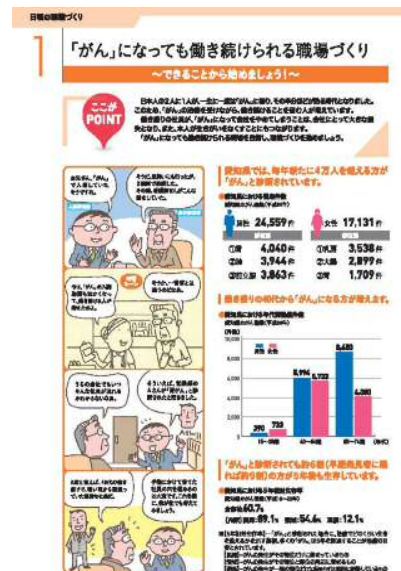


イ がん患者の就労継続を支援するための「企業向けパンフレット」の配布

企業における職場の環境づくりを進めるため、本県が作成した会社経営者や人事担当者向けのパンフレットを、愛知県商工会連合会の会員企業等へ配布しました。



(表面)



(中面)

ウ 「あいち地域両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるように地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」(愛知労働局が主催)に参画し、連携を図りました。

日時：第1回 平成29年7月24日(月)

第2回 平成30年1月15日(月)

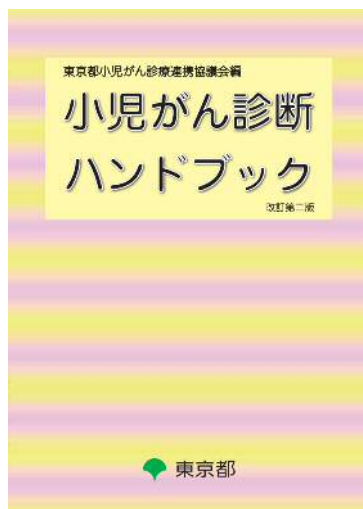
場所：第1回 名古屋合同庁舎第3号館 7階共用大会議室

第2回 名古屋広小路ビルディング 14階 愛知労働局会議室4

参加者：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、名古屋市 等

③ 小児がん治療の連携体制の整備

ア 「小児がん診断ハンドブック」の周知



小児がんは発症例が少なく、発症から診断まで時間を要することが課題であることから、一般小児科向けに東京都が作成した「小児がん診断ハンドブック」を愛知県医師会等に周知しました。

周知先：愛知県医師会、愛知県小児科医会、
愛知県がん診療連携拠点病院 等

④ がん患者・家族に対するピア・サポート

ア がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者支援活動を行っている団体に委託して、がん治療経験者による電話相談を実施しました。

委託先：特定非営利活動法人ミーネット

実施日数：60日、利用者数：170名

(2) 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられる がん対策の推進

① がん医療の充実のための取組

ア がん診療連携拠点病院の整備等

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療の連携強化を図っています。(17病院)

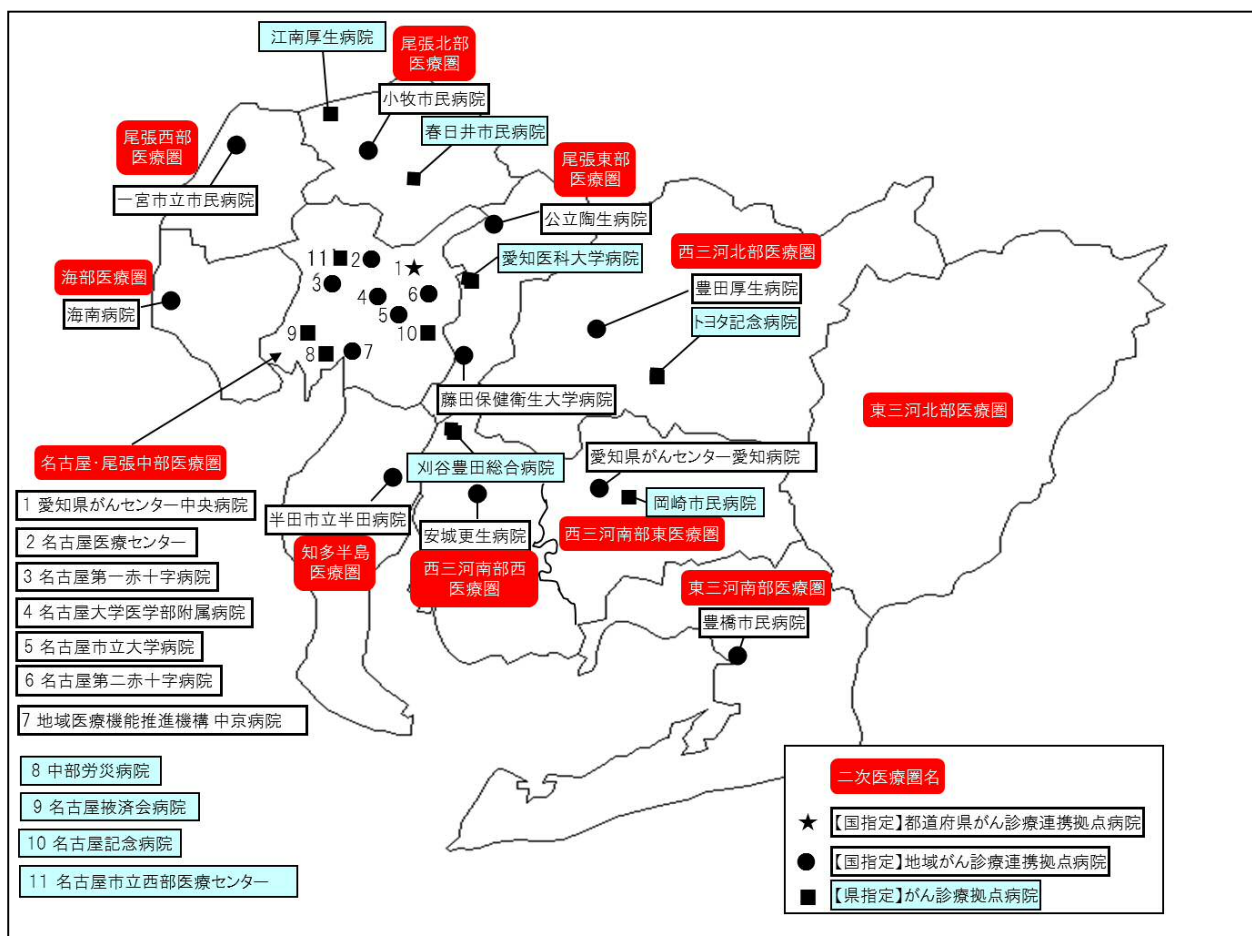
また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって愛知県がん診療拠点病院を指定し、がん診療の体制強化を図っています。(これまで9病院でしたが、平成30年4月1日付けで江南厚生病院が追加となり10病院となりました。)

拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況について、平成27年度から国指定の拠点病院を、平成28年度から県指定の拠点病院を含めて、ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、化学療法等の実績）
- ・愛知県がん対策推進計画(第2期)における目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（平成30年4月1日現在）】



イ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を行って、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：28 病院（開催回数：48 回）

受講者：1,016 名

② がん患者・家族に対する情報提供

ア あいちのがんサポートブックの作成



がんと診断されたときに役立つ情報（不安や悩みを相談できる窓口や医療費、生活費などの支援制度など）を掲載した小冊子を作成し、がん診療連携拠点病院やがん患者支援団体に配布しました。

イ がん相談支援センターにおける相談状況の県 HP への掲載

県のホームページに、従来から掲載してきたがん相談支援センターの一覧に加えて、相談支援センターの役割を県民の皆様に一層分かりやすくお伝えするため、相談内容別の相談件数や病院別の相談件数を掲載しています。

ウ がん患者支援を行う団体の県 HP への掲載

がん患者・家族の方々に対する支援を行う団体の情報を提供し、がん患者さんの療養生活の質の向上に資するため、「愛知県がん患者支援団体ホームページ等掲載要領」を制定し、届出のあった団体を県ホームページに掲載しています。

(3) がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進める がん対策の推進

① がん予防の啓発

たばこの健康への影響に関する知識普及について、街頭啓発や県ホームページでの各種情報の提供等により実施しました。





(啓発ポスター)

② がんの早期発見に関する取組

ア がん検診受診の啓発

検診の受診率向上のため、10月の啓発強化月間を中心に啓発ポスターの配布、街頭啓発等の啓発活動を実施しました。

イ がん検診精度管理委員会の開催

市町村がん検診の精度向上のため、がん検診の実施結果の分析及び要改善事項等を検討し、市町村に対する技術的助言を実施しました。

ウ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催

胃がん検診については、平成28年度から胃部エックス線検査に加え、新たに胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されたため、胃内視鏡検診従事者向け研修会を開催しました。

<第1回>

日 時：平成29年11月4日（土）午後2時30分から

場 所：ウインクあいち 1201会議室

参加者：74名

<第2回>

日 時：平成29年12月21日（木）

午後2時から

場 所：ウインクあいち 1202会議室

参加者：81名

内 容：胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策



エ がん検診従事者講習会の開催

検診機関等においてがん検診に従事する者の資質向上のため、がん検診従事者講習会を開催しました。

内 容：大腸がん検診従事者講習会始め4講習会

受講者：206名

③ がん教育の充実支援のための取組

ア がん専門医等によるモデル講座の開催

県教育委員会を支援するため、中学生ががんに対する正しい知識等を学べるよう、医師による出前講座を実施しました。

※実施した市の管内の小中学校の教職員も参加

<第1回>

日 時：平成 29 年 6 月 30 日（金）午後 2 時 10 分から

場 所：知立市立知立南中学校

参加者：521 名（全学年）

<第2回>

日 時：平成 29 年 7 月 7 日（金）

午後 2 時 35 分から

場 所：半田市立青山中学校

参加者：173 名（3 年生）

<第3回>

日 時：平成 29 年 10 月 5 日（木）

午前 11 時 45 分から

場 所：新城市立新城中学校

参加者：232 名（全学年）

<第4回>

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水）

午前 10 時 35 分から

場 所：長久手市立北中学校

参加者：179 名（3 年生）



イ 中学校教諭を対象としたがん教育研修会の開催

日 時：平成 29 年 8 月 17 日（木）午後 2 時から

場 所：愛知県がんセンター

内 容：保健体育教諭等が中学生にがん教育を行うことができるよう、必要な知識や教材（授業等で活用できるパワーポイント資料・リーフレット）の解説等を行いました。

参加者：68 名



ウ 中学生向け「がん教育リーフレット」の県HPへの掲載

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

愛知の中学生向け「がん教育リーフレット」
がんについて学ぼう！

皆さんは、がんについてどんなイメージを持っていますか？ また、知っていることはありますか？
学習の前に自由に書いてみましょう。

1. 「がん」はどんな病気？

現在日本では、年間約36万人ががんで亡くなっており、死亡原因の第1位となっています。愛知県でも、昭和55年(1980年)以降、がんは県民の死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれており、**がんは私たちにとって身近な病気**です。

【死亡の原因(全国)】

【愛知県の死因別死亡率の推移】

【がんができる仕組みを知らう！】

私たちの体は、多くの細胞からできています。細胞は毎日細胞分裂をして、新しい細胞を作っていますが、細胞の遺伝子に傷がつき、異常な細胞ができることがあります(細胞のミスコピー)。

がん細胞ができて、免疫細胞ががん細胞を取り除いてくれますが、免疫細胞に見逃されたがん細胞が増え続けると「がん」になります。

「がん」は、できた部位にとどまらず、体の正常な部分や血管の中に入り込み、広がっていきます(転移)。

細胞のミスコピーは誰の体でもおこるので、誰でもがんになる可能性があるのです。

出典: 国立がん研究センターがん情報センター

【主ながんについて知ろう！】

がんは、一般的には発生した臓器や組織による分類などから名称が決まります。日本人に多いがんは、下の図に示すがんです。また、右の円グラフに示すように、男女によって、かかる人が多いがんは異なります。

【男性の部位別罹患割合】 (n=25,518)

【女性の部位別罹患割合】 (n=17,926)

出典: 愛知県がん登録(1425)

【がんの原因を知らう！】

○がんになりやすい年齢
人間は老化すると、細胞のミスコピーを起こしやすくなるため、多くのがんは、40歳代から多くなり、年齢が上がるにつれて増えていきます。ただし、若い世代が全くならないわけではありません。

○がんになるリスクを高める原因
がんの研究が進み、がんになるリスクを高める原因が科学的に証明されるようになっていきました。でも、**がんが発生する原因はひとつではなく、さまざまな原因が長い年月にわたって関係している**と考えられています。

- ①生活習慣**
喫煙、多量の飲酒、運動不足(大腸がん)、塩分の多量摂取(胃がん)など
※喫煙と多量の飲酒は、多くのがんの原因となります。
特に、たばこの「肺がん」への影響は大きく、たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人に比べ、男性で約4倍、女性で約3倍高まります。
- ②細菌・ウイルスの感染**
ヘリコバクター・ピロリ菌(胃がん)
ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)
B型、C型肝炎ウイルス(肝臓がん)
- ③発がん性の物質**
放射線、アスベストなど
- ④遺伝性のがん**
部位によって異なりますが、全体のがんの1%~5%程度、遺伝性のがんがあることが分かっています。

(がん教育リーフレット)

(4) がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

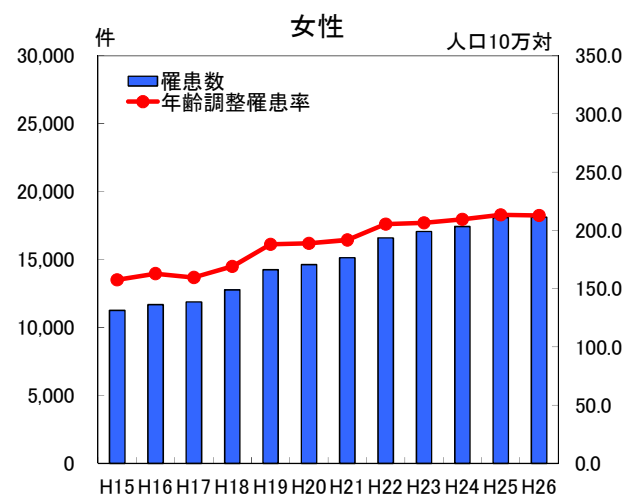
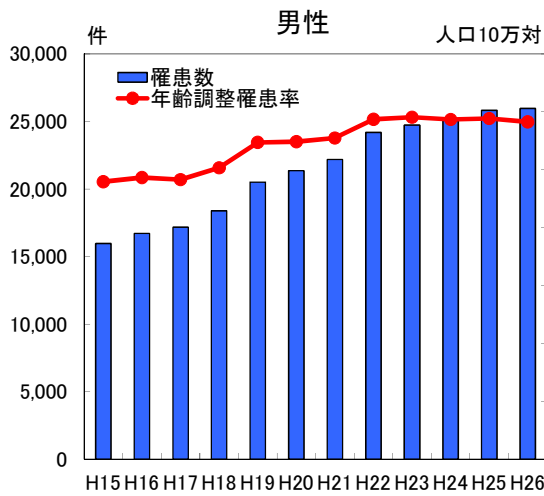
① がん罹患状況等の把握、分析

ア 地域がん登録事業

県民のがん罹患状況を把握する地域がん登録を引き続き実施し、平成26年分のがん罹患データを算出・公表しました。平成26年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は44,078件(延べ件数:男性25,957件、女性18,121件)となりました。

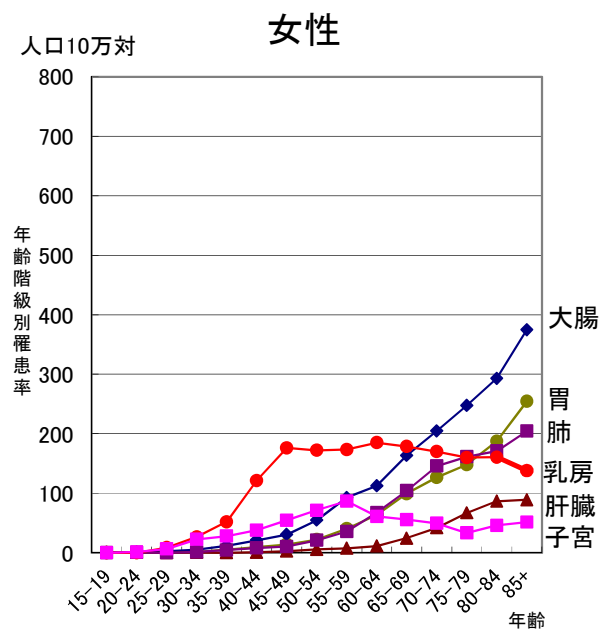
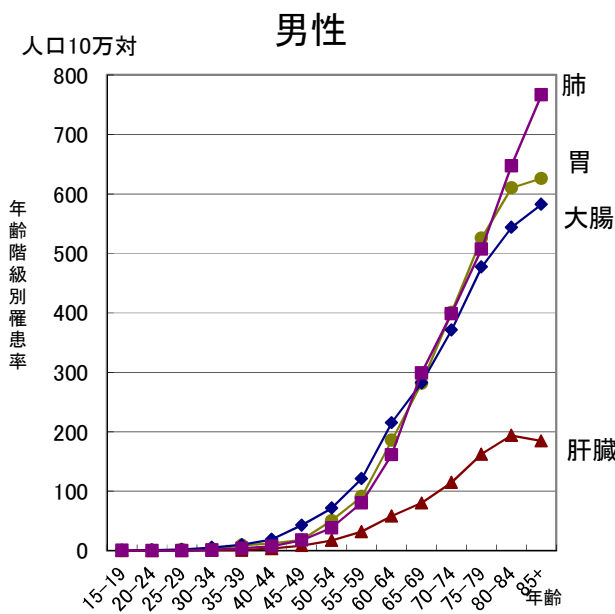
■がん罹患数・罹患率の推移（平成15年から平成26年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年は増加傾向が鈍化しています。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対、平成26年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では大腸がんが40-64歳の各年齢階級で部位別罹患率の第1位となっており、80歳以上では肺がんが第1位となっています。女性では乳がんが25-69歳の各年齢階級で部位別罹患率の第1位となっており、70歳以上では大腸がんが第1位となっています。



2 がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、条例に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画」の目標達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

なお、平成 29 年度は現行の「第 2 期愛知県がん対策推進計画」が満了となるため、平成 30 年度から 6 年間で計画期間とする「第 3 期愛知県がん対策推進計画」を策定するにあたり、下記のとおり同部会を開催し、有識者よりご意見をいただきました。

記

○ 開催日及び議題

第 1 回：平成 29 年 9 月 13 日（水）

「第 3 期愛知県がん対策推進計画」の骨子案について

第 2 回：平成 29 年 11 月 22 日（水）

「第 3 期愛知県がん対策推進計画」の素案について

第 3 回：平成 30 年 1 月 31 日（水）

「第 3 期愛知県がん対策推進計画」（案）に対するパブリック・コメント等の状況等について

○ 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
公益社団法人愛知県医師会 理事	浅井 清和
名古屋大学医学部附属病院化学療法部 教授	安藤 雄一
安城市子育て健康部健康推進課 課長	岩瀬 由紀子
東浦町健康福祉部健康課 課長	内田 由紀子
がん治療体験者（AYA 世代（思春期世代と若年成人世代））	加藤 那津
愛知県がんセンター中央病院 副院長兼看護部長	亀島 里美
愛知県がんセンター 総長	木下 平
愛知労働局労働基準部健康課 課長	近藤 慎次郎
一般社団法人愛知県薬剤師会 常務理事	榊原 瑞輝
一般社団法人愛知県歯科医師会 副会長	梶村 豊彦
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 教授	高橋 義行

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課 主幹	田 畠 仁 美
愛知県がんセンター中央病院 院長	丹 羽 康 正
NPO法人ミーネット 理事長	花 井 美 紀
藤田保健衛生大学医学部放射線腫瘍科 教授	林 真 也
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター センター長	堀 部 敬 三
愛知県小中学校長会 庶務理事	松 村 光 洋
愛知県中小企業団体中央会 総務部長	水 越 昭 雄
ブラザー工業株式会社人事部・健康管理センター センター長	武 藤 清
衣浦東部保健所長	吉 田 宏